

分野（領域）	専門分野Ⅱ 【小児看護学】	科目名	小児看護学方法論Ⅰ
単位（時間）	1（21時間）	開講時期	1年次 2年次 3年次
講師	外部講師		
科目目標	1. 小児に特有な疾患の病態・症状・診断・治療・看護を理解することができる。		
<p>【講義内容】</p> <p>第1章 染色体異常・体内環境により発症する先天異常と看護 B. おもな疾患 1. 染色体異常概論 2. 染色体異常 3. 性染色体異常 4. 胎芽病と胎児病</p> <p>第2章 新生児の看護 B. おもな疾患 1. 新生児の疾患 2. 低出生体重児の疾患 3. 成熟異常</p> <p>第3章 代謝性疾患と看護 B. おもな疾患 1. 新生児マススクリーニング 2. 先端代謝異常症 3. 代謝性疾患</p> <p>第4章 内分泌疾患と看護 B. おもな疾患 1. 下垂体疾患 2. 甲状腺疾患 3. 副腎疾患 4. 性腺の異常</p> <p>第5章 免疫疾患・アレルギー疾患・リウマチ性疾患と看護 B. おもな疾患 1. アレルギーのメカニズム 2. アレルギー性疾患 3. 原発性免疫不全症 4. リウマチ性疾患</p> <p>第6章 感染症と看護 B. おもな疾患 1. 微生物総論 2. ウイルス感染症 3. 最近感染症 4. 真菌感染症</p> <p>第7章 呼吸器疾患と看護 B. おもな疾患 1. 呼吸器疾患診断の手順 2. 先天性喘息 3. 上気道の疾患 4. 気管支・肺・胸膜疾患</p> <p>第8章 循環器疾患と看護 B. おもな疾患 1. 総論 2. 先天性疾患 3. 川崎病 4. 後天性心疾患 5. 心臓律動の異常 6. 突然死</p> <p>第9章 消化器疾患と看護 B. おもな疾患 1. 口腔疾患 2. 頸部嚢胞・瘻孔 3. 横隔膜の疾患 4. 食道の疾患 5. 胃・十二指腸の疾患 6. 小腸・大腸の疾患 7. 腹膜・腹壁の疾患 8. 肝臓・胆道の疾患 9. 急性膵炎 10. 急性乳幼児下痢症、急性胃腸炎</p> <p>第10章 血液・造血器疾患と看護 B. おもな疾患 1. 貧血 2. 出血性疾患 3. 好中球の量的質的異常</p> <p>第11章 悪性新生物と看護 B. おもな疾患 1. 総論 2. 造血器腫瘍 3. 脳腫瘍 4. その他の固形腫瘍 5. トータルケア</p> <p>第12章 腎・泌尿器および生殖器疾患と看護 B. おもな疾患 1. 先天性腎尿路異常（CAKUT） 2. 糸球体疾患 3. 尿細管間質疾患 5. 慢性腎臓病（CKD） 6. 急性腎障害（AKI） 7. 腎尿路疾患の診断に用いられる検査 8. 腎尿路疾患と生活管理 9. 末期腎不全と腎代替療法 10. その他の腎疾患 11. 生殖器・外性器の疾患</p> <p>第13章 神経疾患と看護 B. おもな疾患 1. 小児神経疾患の背景と特徴 2. 神経系の先天異常 3. けいれん性疾患 4. 中枢神経の血管性疾患 5. 脳性麻痺 6. 神経皮膚症候群 7. 急性神経疾患 8. 小児の言語障害 9. 筋疾患</p>			
<p>【テキスト／参考文献】</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論 第1章～第17章</p>			
<p>【評価】</p> <p>学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする</p>			